

区分	その他
----	-----

共 通	
件名	東京2025世界陸上競技選手権大会におけるFF&Eの運営及び大会関連施設の会場設営業務委託
契約主体	公益財団法人東京2025世界陸上財団
契約方法	競争入札（希望制指名競争入札）
内 容	
【目的】 大会におけるFF&E及び会場設営の「実施計画」を策定するとともに、FF&Eの運営及び会場設営を行い、各会場を大会関連施設として使用できる状態に設営する。 ※FF&E：Furniture, Fixture and Equipment （家具、什器・備品） 【主な業務内容】 ○実施計画の策定 FF&Eの運営及び会場設営に関する実施計画を策定 ○FF&Eの運営 各会場へのFF&Eの調達、搬入・設営、保守管理、撤去・搬出 ○会場設営 大会関連施設における仮設テント・仮設トイレの設営、仮設電源の整備など 【契約期間】 契約確定の日の翌日から令和7年12月26日まで	
契 約 変 更	
○令和7年3月26日付で契約締結 契約者：日建リース工業株式会社 現契約金額（概算）：183百万円（税込） 【理由】 ○ウォームアップ会場設営時に、選手チームエリアのフィールド内に段差等が生じることが判明し、床養生材を設置する必要が生じたため、契約変更を行う。 変更後契約額（概算）：191百万円（税込） 増額金額（概算）：8百万円（税込） 【主な変更点】 ○床材上に人工芝で養生を追加 本案件は、会場設営を開始したところテントの床材に段差が発生することが判明し、養生材を緊急で調達し、WAの会場確認までに設営を完了させる必要があることから、緊急案件として契約変更を行った。	
所管部署	業務室会場調整部会場調整課 FA：Venue Management

契約・調達案件 個別確認表（契約変更）

案件名	東京2025世界陸上競技選手権大会におけるFF&Eの運営及び大会関連施設の会場設営業務委託
契約方式	競争入札（希望制指名競争入札）

確認の視点	確認内容	備 考
契約手続きの適正性		
発注組織での意思決定プロセスの手続きが適正に取られたものであること	● 本案件は、公益財団法人東京2025世界陸上財団での意思決定プロセスに沿って、事業執行の決定が行われていることを確認した。	
大会経費として妥当なものであること	● 本案件は、東京2025世界陸上競技選手権大会の準備・運営におけるFF&E（家具、什器・備品）の運営に係る事業であり、財団の役割に基づく業務内容であることを確認した。 ● 運営・準備等に必要項目であり、対象経費として妥当であることを確認した。	
事業執行にあたり、仕様書の内容が適切なものであること	● 業務内容が簡潔、詳細かつ正確に記載されていることを確認した。 ● 業務履行上の費用負担が明記されていることを確認した。 ● 成果品の内容、納品数、納品期限等が具体的に記載されていることを確認した。	
予算執行が適正なものであること	● 大会の準備・運営を進めていくにあたり、適正な予算執行であることを確認した。	
予定価格が妥当なものであること	● 定められた労務単価や市場価格等を参考に、予定価格を適切に算出していることを確認した。	
公費の対象として適切なものであること	● 東京の価値向上に資する大会開催に向け、必要な環境整備を行う経費であることを確認した。	
契約方式の精査・確認		
契約方式が妥当なものであること	● 契約変更が妥当であることを、原契約との同一性の確保、新規発注による弊害及び経済性の比較の観点から検証を行い、確認した。	

区分	その他
----	-----

共 通	
件名	東京2025世界陸上競技選手権大会における国立競技場内ラウンジ飲食提供等業務委託
契約主体	公益財団法人東京2025世界陸上財団
契約方法	競争入札（希望制指名競争入札）
内 容	
【目的】 大会の基本方針に基づき、大会期間中、国立競技場2階に設置されるラウンジにおいて、大会に参加するVVIP及びVIPに対して飲食サービスを提供する業務等を委託する。 ※VVIP：WA幹部、WA及び世界陸上財団のゲスト等 VIP：各国陸上連盟会長、代表団幹部、WAのゲスト等 【主な業務内容】 ○運営計画の作成 実施スケジュール、運営体制、衛生管理方法等をまとめた運営計画を作成 ○飲食の提供 国立競技場内ラウンジに必要なスタッフを配置し、VVIP及びVIPに対してbuffetスタイルでの飲食サービスを提供 （想定総食数：約18,000食） ○会場運営業務 ラウンジ内の清掃、レイアウト設計、運営の準備及び撤去 【契約期間】 契約確定の日の翌日から令和7年11月28日まで	
契 約 変 更	
○令和7年4月1日付で契約締結 契約者： シダックスコントラクトフードサービス株式会社 現契約金額（概算）：121百万円（税込） 【理由】 ○大会開幕後の喫食状況等を踏まえ、想定食数では不足が生じることが判明したため、提供食数を増加する契約変更を行う。 変更後契約額（概算）：131百万円（税込） 増額金額（概算）：10百万円（税込） 【主な変更点】 ○提供食数を増加 本案件は、ゲスト等の来場者数の増加や大会開幕後3日間の喫食状況等により、現在の提供食数では不足が生じることが判明し、提供食数を増加する必要があることから、緊急案件として契約変更を行った。	
所管部署	業務室会場調整部 FA：Food & Beverage

契約・調達案件 個別確認表（契約変更）

案件名	東京2025世界陸上競技選手権大会における国立競技場内ラウンジ飲食提供等業務委託
契約方式	競争入札（希望制指名競争入札）

確認の視点	確認内容	備 考
契約手続きの適正性		
発注組織での意思決定プロセスの手続きが適正に取られたものであること	● 本案件は、公益財団法人東京2025世界陸上財団での意思決定プロセスに沿って、事業執行の決定が行われていることを確認した。	
大会経費として妥当なものであること	● 本案件は、東京2025世界陸上競技選手権大会の準備・運営における国立競技場内ラウンジの運営に係る事業であり、財団の役割に基づく業務内容であることを確認した。 ● 運営・準備等に必要項目であり、対象経費として妥当であることを確認した。	
事業執行にあたり、仕様書の内容が適切なものであること	● 業務内容が簡潔、詳細かつ正確に記載されていることを確認した。 ● 業務履行上の費用負担が明記されていることを確認した。 ● 成果品の内容、納品数、納品期限等が具体的に記載されていることを確認した。	
予算執行が適正なものであること	● 大会の準備・運営を進めていくにあたり、適正な予算執行であることを確認した。	
予定価格が妥当なものであること	● 定められた労務単価や市場価格等を参考に、予定価格を適切に算出していることを確認した。	
契約方式の精査・確認		
契約方式が妥当なものであること	● 契約変更が妥当であることを、原契約との同一性の確保、新規発注による弊害及び経済性の比較の観点から検証を行い、確認した。	